

もくじ

まえがき

第1部 基本概念

| | | |
|-----|--|----|
| 第1章 | 方法論〈発達の旅〉のすすめ 中村隆一 | 9 |
| 第2章 | 発達過程把握 発達研究において精神作業過程測定装置が果たした役割 松島明日香 | 28 |
| 第3章 | 弁証法 若き日の田中昌人による発達過程研究とその歴史的背景——わが国における発達の弁証法的理解について 大泉 溥 | 40 |
| 第4章 | 交流 「階層-段階理論」における「交流」概念の意義と意味を考える 荒木美知子 | 54 |
| 第5章 | 障害 「階層-段階理論」と自閉症スペクトラム研究——田中昌人・田中杉恵は自閉症をどのようにとらえようとしたか? 荒木穂積 | 67 |

第2部 指導・実践・発達論

| | | |
|------|---|-----|
| 第6章 | 生活指導 発達保障と生活指導——近江学園の生活指導実践からの示唆 楠 凡之 | 91 |
| 第7章 | 教育指導 多様な一貫性を保障する——田中昌人の指導論 白石恵理子 | 105 |
| 第8章 | 教育評価 発達保障と教育評価 川地亜弥子 | 119 |
| 第9章 | 自己形成 幼児期から学童期へ——連帯する「自己」形成過程における時間・空間・仲間 服部敬子 | 131 |
| 第10章 | 青年期発達 発達を識ってゆくことの意味と意義 西垣順子 | 146 |

第3部 発達保障の運動と仕組みづくり

| | | |
|------|-------------------------------------|-----|
| 第11章 | 教育運動 すべての障害児の発達と「権利としての障害児教育」 玉村公二彦 | 169 |
| 第12章 | 義務制論争 養護学校義務制をめぐる運動と論争 武井哲郎 | 184 |
| 第13章 | 大津方式① 「大津方式」の意義と今日的展開 西原睦子・高田智行 | 196 |
| 第14章 | 大津方式② 『発達診断と大津方式』から学ぶ 松原巨子 | 210 |

第4部 発達概念・無償教育の漸進的導入

| | | |
|------|--|-----|
| 第15章 | 発達概念 発達概念の歴史研究 前田晶子 | 233 |
| 第16章 | 無償教育 「無償教育の漸進的導入」の探求 渡部昭男 | 246 |
| コラム | 発達研究を豊かにするもの 木下孝司 | 80 |
| | 「人格」 高谷 清 | 82 |
| | 人類生成の科学——田中昌人の自然弁証法 横関 顕 | 84 |
| | 在りし日のこと 藤本文朗 | 86 |
| | 授業研究と田中昌人 赤木和重 | 158 |
| | ヴィゴツキーの知的障害研究と発達保障論 黒田吉孝 | 160 |
| | 「発達チェックリスト」開発プロジェクトと「階層-段階理論」 竹内謙彰 | 162 |
| | 生涯発達保障における高齢期考 吉留英雄 | 164 |
| | 発達と教育を重ね合わせて実践を紡ぐ 窪田知子 | 227 |
| | 重度・重複障害の子どもたちの極微の変化と発達診断——田中杉恵先生から学んだこと 別府悦子 | 229 |
| | 昌人先生の最期の日々 嶋村伸子 | 257 |
| | 海の青と空の青 田中真介 | 259 |

あとがき

アンケートに答えて (田中昌人・田中杉恵)
 転倒した風景 (田中杉恵)
 人間発達研究所略年表
 田中昌人・田中杉恵略年譜
 索引